



# 阿知須浦の 歴史と風土

2006. 10. 22

## 地域景観ワークショップin阿知須

旧中川邸再生工事で設計を担当された沼田さんがおいしい景観のお話をされました。構造を担当した私はいささか固い話で恐縮ですが、阿知須浦の歴史と風土を少しばかりお話します。



### はじめに

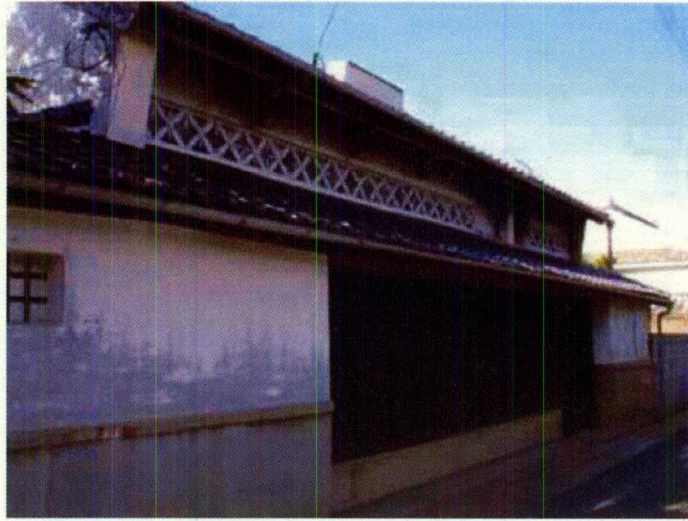
美しい景観は、その地域固有の歴史(時間)と風土(空間)が連続性をもち、自然と人の営みが緩やかに連繋して醸し出されるものです。

阿知須浦は、これからの地域に求められる持続可能な循環型地域社会実現の可能性を十分に内在している場所です。

この地域に関わった民家再生事業を通して、この地域固有の景観要素を掘り出し、これらに意味付けをして連続性をもたせ、さらに生活が結びつく仕組みづくりのきっかけを考えてみました。



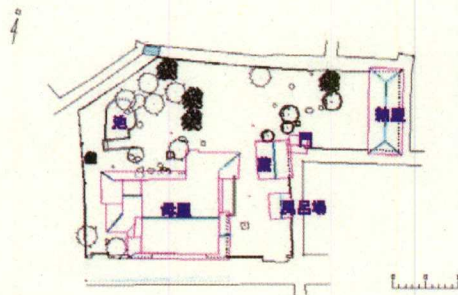
## あらまし



- 事業主体…阿知須町 → 山口市
- 工事概要…旧中川邸 → 民家資料館
- 工 期…平成17年9月～平成18年9月

旧中川邸は明治後期に建てられたものです。この建物を残したいとの施主のご要望で山口市に寄贈されました

## 工事概要



- 意匠  
阿知須の民家の特徴である居蔵造(漆喰土壁、海鼠壁、石組)を活かした重厚なデザイン。
- 構造  
伝統構法(木造軸組、土塗壁)による耐震改修。  
松材(既存)の活用、レンガ塀などの補強。
- 設備  
屋外浴室の保存。  
配線・配管の埋設化。

今回の再生工事では、様々な経緯の中で最終的には復元ということで再生工事が進められました。



## 工事概要

### 母屋(既存)



再生工事前の母屋の外観です。雨漏りにより外壁の劣化がかなり進んでいます。

## 工事概要

### 蔵(既存)



蔵は、内部の柱、梁はまずまずでしたが、外壁の傷み、屋根の雨漏りから柱の腐食が進行していました。



## 工事概要

### 納屋(既存)



納屋は、今にも倒壊しそうな状況でした。路地へ屋根瓦の落下の恐れもありました。

## 工事概要

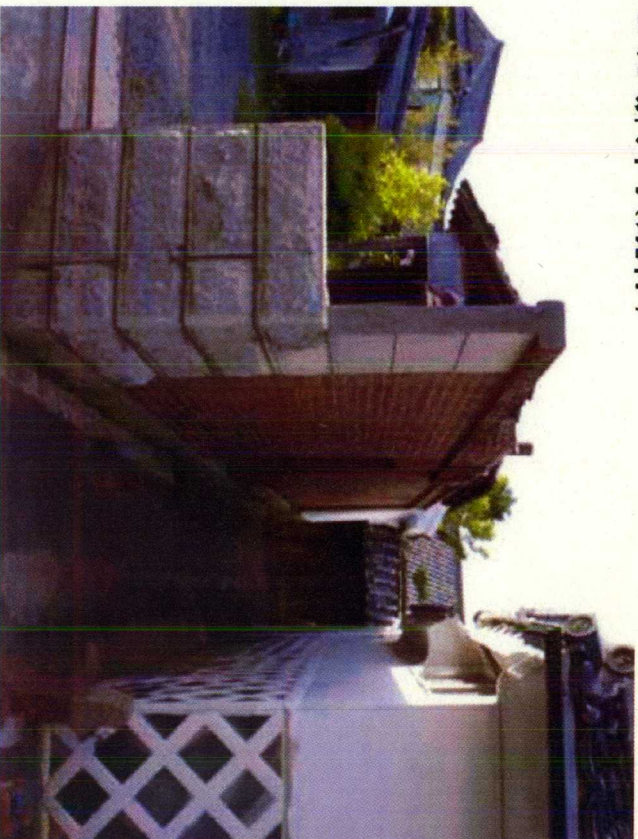
### 浴室(既存 → 解体)



屋外の風呂場は、レンガ塀に寄りかかるような状態で、安全性から解体撤去の話もありましたが、地元や専門家の意見でこの風呂場も復元することになりました。



レンガ塀、門(既存)



レンガ塀、門塀は傷みがひどく、安全性と復元の狭間で悩みましたが、振動測定、材料試験などの技術的な裏付けから補修して残すことになりました。

## 土塀再生



21世紀松下村塾のイベント会場  
05. 11. 23

本格的に再生工事が始まる直前、県主催のイベントに引っ掛けて、当初解体撤去の予定でした納屋の土壁の痕跡を留めたいとの思いから、県立大学生さんのアイデアで、土壁保存モニュメントのワークショップを実施しました。講演会講師として東京の建築家・平倉直子さんに参加いただき、再生工事についてもアドバイスをいただきました。内緒の話ですが、先程の風呂場が撤去されなかったのは、美人に弱い沼田さんが平倉さんに残すように口説かれた結果です。



## 土塀再生



21世紀松下村塾のイベント会場  
05. 11. 23

本格的に再生工事が始まる直前、県主催のイベントに引っ掛けて、当初解体撤去の予定でした納屋の土壁の痕跡を留めたいとの思いから、県立大学生さんのアイデアで、土壁保存モニュメントのワークショップを実施しました。講演会講師として東京の建築家・平倉直子さんに参加いただき、再生工事に関してもアドバイスをいただきました。内緒の話ですが、先程の風呂場が撤去されなかったのは、美人に弱い沼田さんが平倉さんに残すように口説かれた結果です。